

**LEGACY
MACHINE N°1** FINAL EDITION

MB&F





サマリー

LEGACY MACHINE N° 1シリーズ

MB&Fが製作したファイナルエディション

進化するブリッジ

LEGACY MACHINE N° 1シリーズの技術仕様

LEGACY MACHINE N° 1担当の「フレンド」たち

MB&F - コンセプトラボの誕生

詳細についてはこちら
までお問い合わせください:
CHARRIS YADIGAROGLOU,
MB&F SA,
RUE VERDAINE 11,
CH-1204 GENEVA, SWITZERLAND
Eメール: CY@MBANDF.COM
電話: +41 22 508 10 33

LEGACY MACHINE N°1 FINAL EDITION

サマリー

MB&Fは今から6年前、2011年にLegacy Machine N° 1 (LM1:レガシーマシーンN° 1) シリーズを発表。既成概念を打ち破る斬新なオロロジカル・マシンと並行する形で、時計製造の伝統を再解釈した「レガシーマシーン」というコレクションを創り出した。この6年という月日は、時計製造の長い歴史の中ではほんの一瞬にすぎないが、現代の独立した時計製作においては1つの時代が始まり、そして過ぎ去っていくほどの時間に相当する。

これはレガシーマシンの場合にも当てはまり、Legacy Machine N° 1 ファイナルエディションがLM1シリーズ最後の作品となる。そして、このシリーズの完結においても、MB&Fが得意とする意外性が発揮される。

昔から「壊れていないものを修理するな」と言われているが、成功を収めている人気製品も、長期にわたって生産されるのが通例である。しかしLM1 ファイナルエディションは、このような従来の常識を覆し、Legacy Machineコレクションがますます勢いに乗って大好評を得ているまさにその時期にシリーズの幕を閉じるのだ。

Legacy Machine N° 1は2011年に、独自の3つの技術的特徴とともに登場した。そのうちの2つによって、LM1シリーズは今日でも際立った存在であり続けている。それらの特徴のひとつは、アーチ型ブリッジから吊り下げられ、まるで映画のワンシーンのように宙に浮いているテンプで、今やLegacy Machineコレクションのシンボルとなっている。もうひとつの特徴は、のびしたラッカーで覆われた2つのゆるやかなドーム型のダイヤルによる時刻表示。これらのダイヤルは1つのムーブメントによって制御され、また既定のタイムゾーンとは無関係に、独立して時刻を調整できる。3つ目の特徴は垂直パワーリザーブ表示で、香箱のゼンマイの巻き上げ状態を極めて直観的かつ容易に読み取ることができる。

これらのイノベーションに、熟練の時計師、ジャン＝フランソワ・モジョン氏の専門技術とカリ・ヴティライネン氏

が定めた比類なきレベルの高度な仕上げが加わることで、全く新しい独立した時計製造のための枠組みが出来上がった。こうして、伝統的な時計機構が前衛的な構造の中に搭載された。Legacy Machine N° 1は、他とは異なる方法で作られた、他とは一線を画すタイムピースなのだ。

MB&Fは、今回登場する記念すべきLegacy Machine N° 1シリーズ最後の作品の素材として、ゴールドやプラチナなどの貴金属ではなく、ステンレススチールを選んだ。近年は最高級時計にふさわしいケース素材としてスチールが採用されており、このことがLM1 ファイナルエディションに2つの効果をもたらしている。ひとつは、LM1シリーズの優れた強度と時を超えた魅力が反映されていること。もうひとつは、外側の様々な部分だけに価値を置くのではなく、LM1のエンジンの美しさをこれまで以上に際立たせていることだ。

LM1 ファイナルエディションの文字盤はダークチョコレートカラーであるが、MB&Fの作品にこの色が使われるのは初めてのことはない。このディーブブラウンカラーがMB&Fのコレクションに使われた時は必ず、特別な機会であること、何かを祝う理由があることを意味しており、Legacy Machine N° 1 ファイナルエディションも例外ではない。LM1シリーズ最後のタイムピースは、(18本のみ限定エディションであるため) 一部の人々にとってではあるが、記念すべき時を飾る作品となるのかもしれない。そこには、別れのほろ苦い切なさが秘められている。MB&Fの創業者であるマキシミアン・ブッサーが、カカオ85%のダークチョコレートのようなカラーで、そのビタースイートな想いを表現しているように。

LM1 ファイナルエディションはダークチョコレートブラウンの文字盤を備えたステンレススチール製、18本のみ限定品。





サマリー

LEGACY MACHINE N° 1シリーズ

MB&Fが製作したファイナルエディション

進化するブリッジ

LEGACY MACHINE N° 1シリーズの技術仕様

LEGACY MACHINE N° 1担当の「フレンド」たち

MB&F - コンセプトラボの誕生

詳細についてはこちら
までお問い合わせください:
CHARRIS YADIGAROGLOU,
MB&F SA,
RUE VERDAINE 11,
CH-1204 GENEVA, SWITZERLAND
Eメール: CY@MBANDF.COM
電話: +41 22 508 10 33

LEGACY MACHINE N°1 FINAL EDITION

LEGACY MACHINE N° 1シリーズ

2011年、創業から6年を迎えたMB&Fは、既にオロロジカル・マシーンを開発し、現代の独立した時計製造が生み出すムーブメントの基盤を確立していた。互いに交わる2つの円形突出部を備えたHorological Machine N° 1（オロロジカル・マシーン N° 1）や、航空機にインスピレーションを得た左右対称の構造を持つHorological Machine N° 4 サンダーボルトといったタイムピースで構成されるオロロジカル・マシーン シリーズ。その根幹に息づいているのは、大胆なデザイン、そして1970年代のSFの影響を受けた斬新なフォルムを追い求める姿勢だ。

そしてこの年、Legacy Machine N° 1が発表され、MB&Fの2番目のコレクションが誕生。その製作にあたってはブランド独自のデザイン哲学が反映され、ラウンド型ケース、エナメルのような光沢を放つホワイトラッカー仕上げのダイヤル、ローマ数字、クラシックなスタイルで仕上げられたムーブメントプレート、コート・ド・ジュネーブ装飾を施したブリッジ、鏡面ポリッシュ仕上げの面取りが採用された。

MB&Fは、従来的高级時計製造の伝統を再解釈し、それを活かしながらLegacy Machine N° 1の革新的な特徴を構築した。またLM1は、宙に浮いたテンプ、全く独立してセットできる時刻表示、そして垂直パワーリザーブ表示という、時計史上初の機能や特徴も備えている。既成概念を打破する者が、必ずしもデニムジャケットやブラックライダージャケットのような分かりやすい形で現れるとは限らない。LM1では、全く新しい方法で従来の常識を覆した。いわば、三つ揃いのスーツという古典的な姿で、既存の勢力に反抗したようなものだ。

この6年の間に約435本のLegacy Machine N° 1が製造され、このタイムピースは、ブランドを象徴するHorological Machine N° 3とともに、MB&Fにとって最も有能なアンバサダーとなった。LM1シリーズでは、レッドゴールド製モデル、ホワイトゴールド製モデル、プラチナ製モデル、およびチタン製モデルが製作され、文字盤についてはブル

ー、グレー、グリーンの3つのカラーが採用されてきた。また、LM1が多様な表現の可能性を秘めている証として、このシリーズを基にして2つのパフォーマンスアート・モデル、すなわちMB&Fと社外アーティストとのコラボレーション作品が生み出された。

2014年に発表されたLegacy Machine N° 1 Xia Hang（レガシーマシーン N° 1 シア・ハン）では、垂直パワーリザーブ表示の代わりにミニチュアの彫刻フィギュアを採用。コレクションに、空想の世界を再現したような奇抜なデザインを取り入れている。アラン・シルベスタインはMB&Fとのコラボレーションにより、2009年にHorological Machine N° 2.2 ‘Black Box’（オロロジカル・マシーン N° 2.2 ‘ブラックボックス’）を、さらに2016年には、インパクトのあるカラーとテクスチャーを駆使してLM1 Silberstein（LM1 シルベスタイン）を製作した。

そして、LM1シリーズの最後を飾る作品として、ステンレスチール製モデルのLegacy Machine N° 1 ファイナルエディションが登場。シリーズ独特の有名な構造に、ホワイトラッカーダイヤル、宙に浮いたテンプ、および優雅なアーチを描くパワーリザーブ表示を配したダークチョコレートカラーの文字盤を備えている。このモデルに用いられている新デザインのテンプブリッジは、Legacy Machine 101で導入されたカーブを描く先細のスタイル。オリジナルデザインにアレンジを加えたもので、Legacy Machineコレクションの進化と成熟を示している。

Legacy Machine N° 1はMB&Fが今後生み出す新しい世代のクリエイションに道を譲りつつあるが、Legacy Machineが築き上げた伝説的ストーリーが語りつがれることで、これからもLMコレクションを通して、その際立った存在感が人々の心に蘇るだろう。

WWW.MBANDF.COM



LEGACY MACHINE N°1 - PLATINUM



LEGACY MACHINE N°1 - WHITE GOLD



LEGACY MACHINE N°1 - RED GOLD



LEGACY MACHINE N°1 M.A.D.DUBAI



サマリー

LEGACY MACHINE N° 1シリーズ

MB&Fが製作したファイナルエディション

進化するブリッジ

LEGACY MACHINE N° 1シリーズの技術仕様

LEGACY MACHINE N° 1担当の「フレンド」たち

MB&F - コンセプトラボの誕生

詳細についてはこちら
までお問い合わせください:
CHARRIS YADIGAROGLOU,
MB&F SA,
RUE VERDAINE 11,
CH-1204 GENEVA, SWITZERLAND
Eメール: CY@MBANDF.COM
電話: +41 22 508 10 33

LEGACY MACHINE N°1 FINAL EDITION

MB&Fが製作したファイナルエディション

Legacy Machine N° 1はLegacy Machineコレクションにおける最初のシリーズであり、今回このコレクションでは初めて、ファイナルエディションが製作されることになった。これまでも、HM2、HM3、HM4、HM5では、各シリーズの終了を正式に告げる最終モデルが製作されている。

マシンのシリーズを完結することは重要な戦略的決定であり、絶えず研究開発に取り組むという、MB&Fの全社員が共有する理念の要となっている。マキシミアン・ブッサーと彼の率いるチームは、既存のタイムピースの生産を完了して初めて、将来に向けて次の課題へと進み、同時に小規模組織ならではの創作上のひらめきと勢いを保ち続けることができるのだ。

Legacy Machine N° 1 ファイナルエディションではケース素材としてステンレススチールが採用されたが、これがさきがけとなって、MB&Fが今後製作する他のシリーズのファイナルエディションの特徴になるかもしれない。

進化するブリッジ

Legacy Machine N° 1 ファイナルエディションは、LM1シリーズの中では新しいタイプのテンプブリッジを備えている。これは、Legacy Machine 101で初めて登場したブリッジデザインの特徴を受け継いでいるが、同様のスタイルがLM2シリーズのチタンモデルやLegacy Machine Perpetual (レガシーマシーン パーペチュアル) にも採用されている。

オリジナルのLM1モデルは、19世紀のデザインをリメイクし、最新技術と融合することで誕生した。例えば、オープンワークが施され、シャープな角を持つテンプブリッジ。これは、当時の有名な万国博覧会で展示された産業建築における梁と横桁をイメージして設計されている。

しかし、Legacy Machineコレクションがその真価を発揮しながら拡大していくにつれて、自然と、原型である特定の伝統的デザインからは離れていった。Legacy Machine

101では、滑らかなカーブを描く楕円形断面のテンプブリッジを備えているが、これは1つのステンレススチールの塊から加工されており、高度な技術による精巧な機械加工が可能であることを示している。このブリッジは、やや小型のLegacy Machine 101に合わせて設計されたものだ。

その後、このブリッジは、2015年にLegacy Machine Perpetualに、さらに2017年にはLM2 チタンモデルに用いられた。新デザインによるテンプブリッジは、鏡面ポリッシュ仕上げのしなやかなアームを備えたもので、オリジナルのLM1のサテン仕上げを施したブリッジとは異なっている。一見した限りではほんの小さな違いに思えるが、これによって、宙に浮いているテンプがもたらすインパクトが大きくなる。すなわち、ポリッシュ仕上げのテンプブリッジがサンレイ模様を背景にしてくっきりと浮かび上がり、まるで映画のシーンのように空中に高く浮かんだテンプの姿が際立って見えるのだ。





LEGACY MACHINE N°1 FINAL EDITION

LEGACY MACHINE N° 1シリーズの技術仕様

Legacy Machine No.1は18Kレッドゴールド製モデル、18Kホワイトゴールド製モデル、プラチナ製限定エディション（33本）。LM1 M.A.D.Gallery Dubai (LM1 M.A.D.ギャラリー ドバイ) はチタン製限定エディション（13本）。LM1 ファイナルエディションはステンレススチール製限定エディション（18本）。また、アーティストのシア・ハンおよびアラン・シルベスタインとのコラボレーションにより、LM1をベースとした2つのパフォーマンスアート・モデルが製作されている。

エンジン：

三次元オロジカルムーブメント（クロノード社がMB&F専用開発、ブリッジのデザインと仕上げについてはカリ・ヴェイライネンが指定）

手動巻き上げ、単一の主ゼンマイ香箱

パワーリザーブ：45時間

テン輪ムーブメントとダイヤルの上に浮く、伝統的な調整ネジ4個を備えた特注の14mmテン輪

ヒゲゼンマイ伝統的なプレゲヒゲ（スタッドホルダーで固定）

振動数：2.5 Hz / 18,000 bph

部品数：279

石数：23

全体的に19世紀のスタイルを踏襲した最高級の手仕上げ；面取り加工を施した内部の縁（手作業で研磨）；研磨した面取り部；コート・ド・ジュネーブ仕上げ；ゴールドシャトン（研磨した皿穴付き）；手彫り文字

機能

時と分全く独立した2つのタイムゾーンを表示する2つのダイヤル；ユニークな垂直のパワーリザーブ表示

8時位置にある左側のリュースは左側のダイヤルの時刻合わせに使用；4時位置にある右側のリュースは右側のダイヤルの時刻合わせと巻き上げに使用

ケース：

18Kレッドゴールドもしくは18Kホワイトゴールド、プラチナ950、チタン（グレード5）、またはステンレススチール。

サイズ：44 mm（直径）x 16 mm（高さ）

部品数：65

サファイアクリスタル

表側の高いドーム型サファイアクリスタル、裏側のサファイアクリスタルはともに両面反射防止加工済み

ストラップ & バックル

手縫いのブラックまたはブラウンのアリゲーターストラップ、ケース素材にマッチする18Kゴールド製、プラチナ製、チタン製、またはステンレススチール製バックル

サマリー

LEGACY MACHINE N° 1シリーズ

MB&Fが製作したファイナルエディション

進化するブリッジ

LEGACY MACHINE N° 1シリーズの技術仕様

LEGACY MACHINE N° 1担当の「フレンド」たち

MB&F - コンセプトラボの誕生

詳細についてはこちら

までお問い合わせください：

CHARRIS YADIGAROGLOU,

MB&F SA,

RUE VERDAINE 11,

CH-1204 GENEVA, SWITZERLAND

Eメール: CY@MBANDF.COM

電話: +41 22 508 10 33





LEGACY MACHINE N°1 FINAL EDITION

LEGACY MACHINE N° 1担当の「フレンド」たち

コンセプト：マキシミアン・ブッサー (MB&F)
デザイン：エリック・ジル (Through the Looking Glass)
技術・製造管理：セルジュ・クリクノフ (MB&F)
ムーブメント開発：ジャン=フランソワ・モジョン (Chronode)
ムーブメントデザインと仕上げ仕様：カリ・グティライネン
研究開発：ギヨーム・テヴナン、ルーベン・マルティネス (MB&F)

ホイール：ドミニク・ギュイエ (DMP)
テン輪ブリッジ：バンジャマン・シニュード (AMECAP)
テン輪：ドミニク・ロペール (Precision Engineering)
プレートとブリッジ：アラン・ルマルシャン、ジャン=バティスト・プロト (MB&F)、ロドリグ・ボーム (Damatec)
ムーブメント手彫り：シルヴァン・ベテックス (Glypto)
ムーブメント部品手仕上げ：ジャック=アドリアン・ロシャ (C.-L. Rochat)
PVD処理：ピエール=アルベール・ステインマン (Positive Coating)
ムーブメント組み立て：ディディエ・デュマ、ジョルジュ・ヴェイジー、アン・ギテ、エマニュエル・メートル、アンリ・ポルトブフ (MB&F)
社内機械加工：アラン・ルマルシャン&ジャン=バティスト・プロト (MB&F)
アフター・サービス：トマ・インベルティ (MB&F)
品質管理：シジル・ファレ (MB&F)
ケース：ジュネ&ドミニク・メニエ (G&F Chatelain)、バスカル・クロズ (Oreade)
バックル：Erbas S.A.
文字盤：モリツィオ・チェルヴェリエリ (Nateber)
針：ピエール・シリエ、イザベル・シリエ、マルコス・サモラ (Fiedler)
ガラス：マルティン・シュテットラー (Stettler)
ストラップ：オリヴィエ・ピュルノ、カミーユ・フルネ
化粧箱：オリヴィエ・ベルトン (ATS Atelier Luxe)
ロジスティクスおよびプロダクション：ダヴィド・ラミー&イザベル・オルテガ (MB&F)

マーケティングおよび広報：シャリス・ヤディガログルー、ヴィルジニー・メイラン、ジュリエット・デュル (MB&F)
M.A.D.ギャラリー：エルヴェ・エスティエンヌ (MB&F)
販売：スニタ・ダーラムゼイ、リツァ・ナルズ、フィリップ・オグル (MB&F)
グラフィックデザイン：サミュエル・バスキエ (MB&F)、アドリアンシュルツ&ジル・ボンダラ (Z+Z)
製品撮影：マールテン・ファン・デル・エンデ
ポートレート撮影：レジス・ゴレ (Federal)
ウェブマスター：ステファン・パレ (Nord Magnetique)、ヴィクトル・ロドリゲス&マチアス・ムンツ (NIMEO)
映像：マルク=アンドレ・デシュ (MAD LUX)
テキスト：スザンヌ・ウォン

サマリー

LEGACY MACHINE N° 1シリーズ

MB&Fが製作したファイナルエディション

進化するブリッジ

LEGACY MACHINE N° 1シリーズの技術仕様

LEGACY MACHINE N° 1担当の「フレンド」たち

MB&F - コンセプトラボの誕生

詳細についてはこちら

までお問い合わせください:

CHARRIS YADIGAROGLOU,

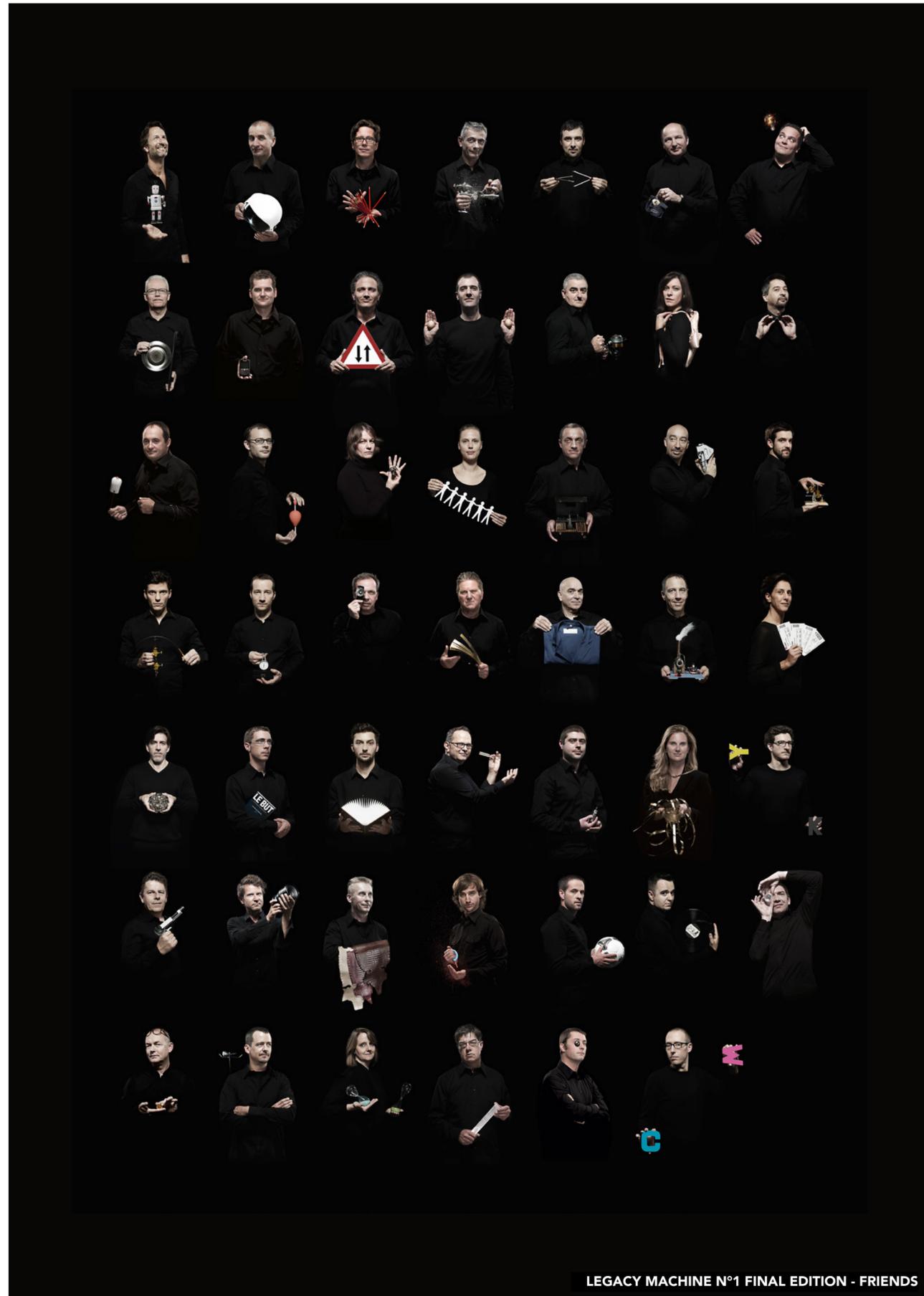
MB&F SA,

RUE VERDAINE 11,

CH-1204 GENEVA, SWITZERLAND

Eメール: CY@MBANDF.COM

電話: +41 22 508 10 33





サマリー

LEGACY MACHINE N° 1シリーズ

MB&Fが製作したファイナルエディション

進化するブリッジ

LEGACY MACHINE N° 1シリーズの技術仕様

LEGACY MACHINE N° 1担当の「フレンド」たち

MB&F - コンセプトラボの誕生

詳細についてはこちら
までお問い合わせください:
CHARRIS YADIGAROGLOU,
MB&F SA,
RUE VERDAINE 11,
CH-1204 GENEVA, SWITZERLAND
Eメール: CY@MBANDF.COM
電話: +41 22 508 10 33

LEGACY MACHINE N°1 FINAL EDITION

MB&F - コンセプトラボの誕生

2015年、MB&Fは10周年を迎えます。史上初のオロジカル・コンセプトラボが経験した豊かな10年です。MB&Fを一躍有名にした、かの有名なオロジカル・マシンとレガシー・マシンを構成する11個のキャリアバーが象徴する、極限の創造性の10年と言えます。

15年間高級時計ブランドのマネジメントに徹したマキシミアン・ブッサーは、2005年にハリー・ウィンストンのマネージングディレクターを辞任し、MB&F（マキシミアン・ブッサー&フレンズ）を設立。MB&Fは、ブッサー氏が尊敬しコラボレーションを共に楽しむ才能あるオロジカル職人を集め、先鋭的なコンセプトの腕時計デザインと小規模の製作を行う、アートとマイクロエンジニアリングのラボです。

2007年、MB&Fは初のオロジカル・マシンHM1を発表。HM1の彫刻のような3次元ケースと美を追求して仕上げられたエンジン（ムーブメント）は、奇抜とも言えるその後の同社オロジカル・マシンの基準となりました。HM2、HM3、HM4、HM5、HM6、HM7、HM8、そしてHMX。すべては時刻を告げるためだけのマシンではなく、自らが時を知るマシンなのです。

2011年にはMB&Fはラウンドケースのレガシー・マシン・コレクションを世に送り出しました。MB&Fの視点から言えばよりクラシカルなこのラインアップは、現代的な芸術作品に仕上げる上で、過去の偉大なオロジカル革新者が生み出した複雑エンジンを新たに解釈し直し、19世紀の優れた時計製造技術を讃えています。LM1とLM2に続いて発表されたLM101は、完全自社開発したムーブメントを搭載している初のMB&Fマシンとなりました。2015年は完全一体型のパーペチュアルカレンダーが特徴のレガシー・マシン・パーペチュアルを発表。MB&Fは、現代的かつ非常に斬新なオロジカル・マシンと、時計製造の歴史をインスピレーションの源とするレガシー・マシンを交互に発表しています。

MB&Fは、オロジカル・マシンとレガシー・マシンの他にも、オルゴール製造を専門とする「リュージュ」とのコラボレーションによる宇宙時代を象徴したオルゴール（MusicMachine 1、2、3）や、「レベ1839」とのコラボレーションによる宇宙ステーションをイメージしたフォルムの独特な置時計（Starfleet Machine）、クモをモチーフにした時計（Arachnophobia）、ロケットをテーマにした置時計（Destination Moon）、さらに3つのロボットクロック（Melchior, Sherman, Balthazar）などを製作しています。2016年にはMB&Fと「カラダッシュ」が共同で、アストログラフ（Astrograph）と名付けられた機械式のロケット型万年筆を制作しました。

またMB&Fの軌跡における、その革新的な本質を証明する受賞機会もありました。すべてを網羅することはできませんが、名高い「ジュネーブ時計グランプリ」においては4つものグランプリを獲得しています。2016年にはレガシー・マシン・パーペチュアルが「ベストカレンダーウォッチ賞」を受賞。2012年にはレガシー・マシンNo.1が「パブリック賞（オロジファンによる投票）」と「最優秀メンズウォッチ賞（プロの審査員による投票）」を受賞しました。また2010年には、MB&FのHM4サンダーボルトが「最優秀コンセプト&デザインウォッチ賞」を受賞。さらに2015年には、HM6スペースパイレーツが、国際的な「レッドドット・デザイン賞」において最高位の「レッドドット：ベスト・オブ・ザ・ベスト賞」を受賞しています。

フォルダーコンテンツ

多言語のプレスリリースを表示したり、全商品画像（低解像度・高解像度）にアクセスするにはこちらをクリックしてください

THE MACHINE



LEGACY MACHINE N°1 FINAL EDITION FACE

LEGACY MACHINE N°1 FINAL EDITION FRONT

LEGACY MACHINE N°1 FINAL EDITION BACK

LEGACY MACHINE N°1 FINAL EDITION PROFILE

LEGACY MACHINE N°1 FINAL EDITION

LEGACY MACHINE N°1 FINAL EDITION ENGINE



LEGACY MACHINE N°1 PLATINUM

LEGACY MACHINE N°1 RED GOLD

LEGACY MACHINE N°1 WHITE GOLD

LEGACY MACHINE N°1 M.A.D. GALLERY DUBAI

FRIENDS

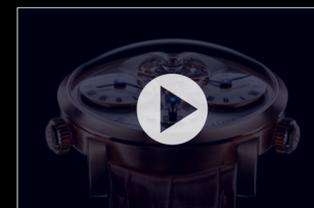


MAXIMILIAN BÜSSER PORTRAIT
Copyright Hung @ HS Production

LEGACY MACHINE N°1 FRIENDS PORTRAIT

LEGACY MACHINE N°1 FRIENDS LANDSCAPE

THE FILM



LM1 - FIRST EDITIONS



FOLLOW US ON SOCIAL MEDIA @MBANDF